

2 OJT 実践

7つの内容から4つのキーワードを確定し、本校 OJT を推進していく。

OJT キーワード

学年会 OJT

- 日常的に、どこでも行う OJT。
- 年度当初に、重点目標(聴く・話す力の向上)達成のため、各学年で目指す児童のよりよい姿を確定させ、指導の方針を決める。
- 1年間を見通して話し合い、具体的な活動計画を作成し、学び合いを進める。

- ・学年・学級経営 ・明日の授業の進め方
- ・校内研究教科である生活科・総合的な学習の時間と校外学習の計画 など

<その他の内容例>

- ・児童の実態把握 ・行事の計画 ・教室経営
- ・教材研究・授業づくり ・学年だより作成
- ・授業参観・懇談会の持ち方 ・学力・体力向上
- ・生徒指導諸問題の解決 ・会計簿の作成
- ・学級目標の設定の仕方 など

- 児童の下校後、1～3時間にも及ぶことがある。



職員室での様子



学年会の様子

OJT キーワード

授業づくり OJT

- 校内研究主題「体験に根ざした言葉を大切にする、生活科・総合的な学習の時間の授業づくり」を進めるため、次の通り推進する。
- ・年度当初、生活科と総合的な学習の時間の単元計画を作成し、授業づくりを進める。
- ・体験活動を重視した校外学習の年間計画と重点目標達成のための日常的な指導の計画を立て、授業づくりを行う。
- ・1年から6年までと特別支援学級を合わせた7コマの研究授業を設定する。



授業検討会

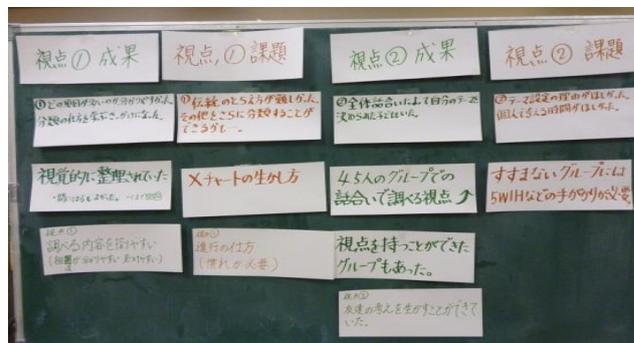


3グループに分かれてのワークショップ

- ・授業を参観し合い，参観の視点や児童の姿に着目し検討会（ワークショップ型）を実施し学び合う。司会・話合いの内容の発表は輪番で実施。成果と課題を共有し，日常に生きる授業づくりを目指す。
- ・指導案検討は学年部で実施。検討会の司会・記録等も同学年部が分担して進める。



グループごとの話合いの結果の発表



各グループから出された成果と課題

OJT キーワード

仲間づくり OJT

- 「児童も先生も楽しい学校」を目指し，同僚性を高める楽しい活動を行い，互いの良さを発見し合い，認め合い，学び合いの意識を高める。
実際の活動は，希望調査を行い，実施する。
- 内容によって，全員参加型と自由参加型に分け，計画の詳細について全員に呼び掛ける。

【漫才披露】

- ・仲間づくり OJT のスタートは，転入職員歓迎昼食会での漫才披露。
- ・「教育に笑いを」，「職員の聴く・話す力の向上」を目指している。
- ・テーマは「茂庭台小学校の紹介」。
- ・新年昼食会では「新年の抱負」。何組かが披露。

【料理対決】

- ・夏期休業中に，4グループに分かれ，若手がリーダーとなり，全員参加で料理を作り，味を競い，楽しく会食する。
- ・栄養士が審査委員長で給食調理員も審査に加わり，トップ3を決定。
- ・その後，全員で家庭科室の使用法，調理実習の進め方などを確認し，児童がより使いやすくなるよう整理整頓し終了する。
- ・餃子自慢大会，鍋対決，カレー王選手権，サバイバル飯作り，中華ちまき作り，餅つきを実施。
- ・調理の過程での話題は多岐に渡り，職員間の親交を深め，楽しい時間を過ごす。



料理対決「パスタ決戦」(8月)



餅をついて会食・1学期を振り返る(10月)

【茂庭台フィールドワーク】

- ・ 夏季休業中に、全員参加型で実施。
- ・ 茂庭台地区の石碑や神社などの歴史的建造物や、地域内の山・川・ダムを散策。

【表現運動】

- ・ 表現運動の指導法を学び合い、バレーボールやバドミントンなどのレクリエーションを計画中。



茂庭台フィールドワーク(8月)

OJT キーワード

P4C OJT

○重点目標達成を目指す「考える力を高める取組」の1つとして「p4c(子どもの哲学)」OJTを進める。

- ・ 豊田先生(東京工業大学特任准教授)やハワイから来校された先生方から p4c を学ぶ。
- ・ 各学級ごとに、いろいろな場面(教科・道徳・特別活動など)で「p4c」を実践し、その様子について話し合う。
- ・ ハワイ視察の職員の報告会を行う。
- ・ 職員全員で「p4c」を実施する。
テーマは「幸せについて」
- ・ 「p4c」を実施し、その有効性を探り、成果と課題とを明確にして、児童の「考える力」の向上を目指す。



職員全員で P4C

テーマ「今年よかったこと・うれしかったこと」
「幸せについて」



豊田先生の P4C セッション
テーマ「地球はどうやってできたのか」



ハワイの先生方のセッション
テーマ「わたしの将来の夢は何か」